

令和元年度専門学校ユマニテク医療福祉大学校

学校関係者評価報告書

学校法人みえ大橋学園専門学校ユマニテク医療福祉大学校学校関係者評価委員会は、令和元年3月に「令和元年度学校自己評価表」に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、以下の通り報告いたします。

令和2年3月31日作成

学校法人みえ大橋学園
専門学校ユマニテク医療福祉大学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員（出席者）

1. 大田京子（みえけん介護福祉士戒会長）
2. 北 正美（有限会社ホワイト介護 総合施設長）
3. 鈴木 幹治（三重県伊賀白鳳高校 教諭）
4. 藤田泰樹（大橋学園高等学校 校長）
5. 和田欣子（専門学校ユマニテク医療福祉大学校 学校長）
6. 伊藤幾代（専門学校ユマニテク医療福祉大学校 学科長）

以上6名

2. 令和元年度自己評価（令和元年度の学校運営等についての評価）

項目	評価・課題
(1) 教育理念・目標	<p>評価：ほぼ適切～適切（平均 3.4 点、17 点／20 点）</p> <p>課題：学校の理念・目的・育成人材像・特色は HP や募集要項にも明記されているが、将来構想について学生・保護者への周知がされていない。</p> <p>改善策：中長期的な視点での学校の在り方について議論をしていく。</p>
(2) 学校運営	<p>評価：適切（平均 3.8 点、24 点／28 点）</p> <p>課題：人事、給与の規定、教務・財務等の意思決定システム、業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制の整備が不十分である。</p> <p>改善策：昨年度から導入された経営コンサルタント会社の支援を得ながら、法人全体の基盤整備に注力していく。</p>
(3) 教育活動	<p>評価：ほぼ適切～適切（平均 3.71 点、52 点／56 点）</p> <p>課題：関連分野における知識・技能等の習得のための研修は行われているが、指導力育成・職員の能力開発に関する内部研修に関して長期計画が必要である。</p> <p>改善策：目的を明確にした中長期的な内部研修計画を立案する。</p>
(4) 学習成果	<p>評価：ほぼ適切～適切（平均 3.6 点、18 点／20 点）</p> <p>課題：留学生の増加に伴い学習進度に遅れが見られ、資格取得率 100% とならなかった。効果的な教育内容、教材研究が必要。</p> <p>改善策：効果的な教育内容、教材研究が必要。</p>
(5) 学生支援	<p>評価：ほぼ適切～適切（平均 3.2 点、32 点／40 点）</p> <p>課題：留学生の経済的支援体制が十分でない。</p> <p>改善策：留学生の施設奨学金制度など学生の支援について検討していく。</p>
(6) 教育環境	<p>評価：適切（平均 3.0 点、9 点／12 点）</p> <p>課題：防災に対して、現実的な体制ができていない。</p> <p>改善策：防災に対する体制を整え、より実践的な防災訓練を行う。防災備品に関してはより実行可能な対策を取る。</p>
(7) 学生の受け入れ 募集	<p>評価：ほぼ適切～適切（平均点、3.3 10 点／12 点）</p> <p>課題：オープンキャンパス及びガイダンス等、行っているが、参加者は減</p>

	<p>少傾向にある。日本語学校へのアプローチが十分でない。</p> <p>改善策：高校生に対して魅力あるオープンキャンパスやガイダンスとなるよう、教員と広報担当者が協力する。日本語学校への訪問、ガイダンス参加等積極的に行う。</p>
(8) 財務	<p>評価：ほぼ適切～適切（平均 3.5 点、14 点／16 点）</p> <p>課題：学生数の減少により収益は減額している。</p> <p>改善策：高等教育の就学支援制度の対象校となった。入学時の優遇制度を導入して入学生の増加につなげたい。</p>
(9) 法令等の遵守	<p>評価：ほぼ適切～適切（平均 3.5 点、14 点／16 点）</p> <p>課題：規定備品の老朽化により、入れ替えが必要な備品が混在している。</p> <p>改善策：規定備品の入れ替えを計画的に実施し、学習環境を整備する。</p>
(10) 社会貢献・地域貢献	<p>評価：ほぼ適切～適切（平均 3.3 点、10 点／12 点）</p> <p>課題：地域の文化祭や、ボランティア等に参加している。学校の教育資源や施設を活用した地域貢献が十分に行えていない。</p> <p>改善策：学生や教員が地域貢献できる活動を検討する。</p>

3. 令和元年度 学校関係者評価（平成 30 年度の自己評価についての評価）

項目	評価・課題
(1) 教育理念・目標 「理念・目的・育成人材像は定められているか」	適切である。
(2) 学校運営 「目的等に沿った運営方針が策定されているか」	適切である。
(3) 教育活動 「教育理念等に沿って教育課程の編成・実施方針等が策定されているか」	適切である。
(4) 学習成果 「卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか」	適切である。

(5) 学生支援 「学生相談に関する支援体制は整備されているのか」	適切である。
(6) 教育環境 「施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか」	適切である。
(7) 学生の受け入れ募集 「学生募集活動は適正に行われているか」	適切である。
(8) 財務 「財務について会計監査が適正に行われているか」	適切である。
(9) 法令等の遵守 「法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか」	適切である。
(10) 社会貢献・地域貢献 「学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか」	適切である。

4. 学校関係者評価 総括と課題について

項目	評価・意見
自己評価結果についての全体的な評価・意見等	<p>全体的に、自己評価では、ほぼ適切～適切なレベルである。今後は、自己評価の中で抽出された課題について、具体的な改善案を提案し、実行性を高くし質の高い学校運営を目指していく。</p> <p>留学生、訓練生、高卒生等多様な人材の教育を強みとして、豊かな人間性の養成に期待します。</p>